

事務事業名	外出時介助等(移動支援)事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	障がい者福祉グループ	課長名	田中 秀信	
	施策名	〈22〉障がい者(児)福祉の充実		担当者名	藤本 誠		電話番号	0854-40-1042 (内線) 2152
	目的・対象	障がいのある人	意図	地域で、いきいきと安心して暮らす。			大事業名	地域生活支援事業
	基本事業	〈065〉福祉サービスの充実		予算科目	0:1:1:5:4:0	中事業名	移動支援事業	
目的・対象	障がいのある人	意図	サービスを受ける。			0:5:4:5:0:9	中事業名	移動支援事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
障がい者(児)・難病患者	自立した日常生活および社会生活を送る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	外出時に介助等の支援が必要な障がい者等に対して、ヘルパーが同行し介助等の支援を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
障がい福祉サービス事業所に事業を委託して実施。 現在、19事業所(うち、11事業所は市内事業所)に委託。	新規事業所(特に通学支援)の開拓を行ってきた。 令和元年度から通学支援を実施する事業者に対し、車両確保及び介助職員経費の一部を助成することとしたが、令和3年度から移動支援事業の委託料に含めることとした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 利用実人数	人	57	55	55	60
イ 利用件数	件	395	406	429	500
ウ 延べ利用時間数	時間	5,100	5,581	6,942	6,000
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
委託料 29,522千円	財源内訳	国庫支出金	千円	7,774	7,495	9,522	18,860
扶助費 64千円		県支出金	千円	6,793	7,373	7,397	9,430
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	7,740	9,805	12,667	9,431
	事業費計		千円	22,307	24,673	29,586	37,721

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	屋外での移動が困難な障がい者(児)が、ヘルパーに同行してもらうことによって、社会生活上不可欠な外出や、余暇活動等に参加することができている。
② 事業実施するうえでの課題	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業サービスの一つであり、市町村必須事業である。本事業は外出のために介助が必要な方への支援を行うものであるが、交通手段を求められることが多い。
③ 課題解決に向けた改革改善等	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業サービスの一つであり、市町村必須事業であるため、従来どおり実施する。事業内容を説明し、正しく理解していただけるよう努める。